

**第483回 10月28日開催  
出席委員（50音順・敬称略）**

荒巻 裕                    大村 英昭  
黒田 勇                    櫻井 美幸  
森 輝彦  
倉光 弘己（書面参加）  
深井 麗雄（書面参加）

**「阪神タイガース優勝関連・テレビスポーツ番組」  
特別番組「おめでとうタイガース！俺たちのリーグ優勝」  
03年9月21日（日）午前10時～11時24分 放送**

**プロ野球日本シリーズ「阪神対ダイエー 第4戦」  
03年10月23日（木）午後6時～10時44分放送**

**\* 荒巻委員**

特番は、「森」と「木」が両方ともよく見える番組だった。つまり、選手たちの力の総和という「森」とそれぞれの選手が自らの課題にどう取り組んだかという「木」が巧みに構成されていたと思う。またシリーズの中継は、解説が非常に適切であった。しゃべり過ぎず、アナウンサーとの呼吸もぴったり合っていて雰囲気盛り上げてくれた。

**\* 黒田委員**

スポーツをバラエティー化する傾向がある中で、今回の特番は、優勝に賭ける各選手のそれぞれの思いが非常にバランスよく語られていて、水準の高いスポーツドキュメンタリーに仕上がっていた。また第4戦の中継も、視聴者に変にこびることもなく、スポーツ中継の原点を見るような映像で、非常に気持ち良く見ることができた。

**\* 櫻井委員**

特番は、優勝への軌跡をお祭り騒ぎにしないで、静かにじっくりとそれぞれの選手の人となりを引き彫りにしたことで、感動がじんわりとこみ上げてきた。日本シリーズは、解説者やアナウンサーのシフトなどに工夫が見られ、放送自体に厚みがあった。中継の映像も非常に臨場感があって、やはりこれまでの蓄積があるからこそだと思った。

**\* 大村副委員長**

特番もシリーズの中継も感動的で非常に良かったと思う。ただ日本シリーズそのものは、名古屋から東は驚くほど静かだったし、アメリカのメジャーリーグがかなり身

近になったこともあって、全国レベルではローカルの「祭り」という気がした。でも、その祭りを心ゆくまで楽しんだのだから文句はない。

#### **\*森委員長**

特番は、プロ野球を正面からとらえたすぐれたスポーツドキュメンタリーと言える。私はプロ野球では、高校野球ほど熱いものを感じることはあまりなかったが、今回のシリーズでは選手が本気でぶつかり合った時のすごさを目の当たりにし、何とも言えない感動を覚えた。中継は、その感動を余すところなく伝えてくれたと思う。

#### **\*倉光委員（書面）**

熱烈なタイガースファンではないが、この特番は、言ってみれば「タイガース銘々伝」という感じで、妙に納得しそれぞれの登場人物に親近感を覚えた。優勝関連の特番は各局とも放送しているので、この番組もいつもの「思い出の名場面集」であろうと予断を持って見たばかりに不本意ながら（？）ひどく感激させられてしまった。

#### **\*深井委員（書面）**

特番の作り方がほぼ同じパターンの繰り返して、ダブる感じがした。何人かの選手を同じように扱うのではなく、一人だけ突出させてもよかったのではないか。例えば、「赤星選手」。彼がなぜ車イスを贈ることにこだわるのか、周辺の人々や障害のある人たちへのインタビューなどで構成する作り方もあったと思う。

日本テレビの「視聴率操作問題」について、社長の発言と編成局長の説明があった後、各委員との間で活発な意見交換が行なわれた。